

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	特別支援教育論				
担当者氏名	山崎 徳子、山田 義則				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-4 発達の深い理解 ○ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

特別支援教育に関する基本的な指導・支援の基本的な考えと付帯の実践的な方策について学び、特別支援学級・特別支援学校及び、障がいはないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の把握や支援における教育課程、教育内容・方法の基本を理解する。
 授業はグループワークを中心に行い自主的な学習態度を重視する。

《授業の到達目標》

特別支援教育に関する基本的な指導・支援の基本的な考えと付帯の実践的な方策について学び、特別支援学級・特別支援学校及び、障がいはないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の把握や支援における教育課程、教育内容・方法の基本を理解する。
 インクルーシブ教育へ志向する教育の課題をとらえ、インクルーシブ教育の実現の「社会的障壁」を認識する。

《成績評価の方法》

平常点（受講態度等）10%
 発表20%
 提出物10%
 定期試験60%

《テキスト》

なし 適宜資料を配布する。

《参考図書》

特別支援教育の基礎・基本新訂版 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築（国立特別支援教育総合研究所） 特別支援学校幼稚部教育要領小学部・中学部学習指導要領（文科省） 生徒指導提要（文科省）

他、適宜紹介する。必要に応じて資料を配布する。

《授業時間外学習》

・インターネットなどから授業のテーマに関わる情報を収集し、課題点などを考察しておく。
 ・授業後には、疑問点やさらに知りたい点などについて図書館等を用いて発展的に調べる。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	1	特別支援教育の理念 障がいの概念
2	2	肢体不自由児、視覚・聴覚障がい児の理解と援助
3	3	知的障がい児の理解と援助 I
4	4	知的障がい児の理解と援助 II
5	5	配慮を必要とする子ども II (外国籍家庭の子ども・貧困家庭)
6	6	発達障がいのある子ども I
7	7	発達障がいのある子ども II
8	8	保護者支援
9	9	きょうだい支援
10	10	ノーマライゼーション
11	11	合理的配慮
12	12	教育課程に基づく指導計画の作成と記録及び評価
13	13	発表 I
14	14	発表 II
15	15	まとめ